



Innovative Blockchain crypto-currency of integrated platform

Integrated Platform of Payment Solution and Evolving MIR COIN in the Platform



Contents

1. BLOCKCHAIN OVERVIEW

1.1. BLOCKCHAINの 定義	3
1.2. BLOCKCHAINの 特徴	4

2. MIR COIN

2.1. はじめに – MIR COINの誕生の背景	5
2.2. MIR COIN VISION	7

3. MIR LAND

3.1. MIR LAND INTRO	9
3.2. MIR LAND INTRO – PLATFORM	10
3.3. MIR LAND CONCEPT	12
3.4. MIR LAND INSIDE	13

4. MIR PLATFORM

4.1. MIR PLATFORM - 概要	14
4.2. MIR WALLET	15
4.3. MIR PLATFORM – MIR LAND	17
4.4. MIR WALLET / GLOBAL EXCHANGE	19

5. TECHNICAL APPROACH OF MIR CHAIN – MIR COIN

5.1. MIR CHAIN INSIDE	20
5.2. MIR COIN POLICY	28

6. MIR COIN ROAD MAP

7. MIR COIN ビジョンと今後の計画	31
------------------------	----

1. BLOCKCHAIN OVERVIEW

1.1. BLOCK CHAIN 定義

ブロックチェーンは4次産業革命の根本的な技術

私たちは、今、4次産業革命の時代に生きている。近年、人工知能 (A.I) とモノのインターネット (IoT)、クラウドコンピューティング、ビッグデータなどの新しい革新的な技術が登場しており、これらの新技術は、既存の秩序と方法を革命的に変化させている。

2008年ビットコイン (Bitcoin) という暗号通貨 (Crypto Currency) と一緒に登場したブロックチェーン (Block chain) 技術も従来の集中型データシステムに革命的な変化をもたらし、4次産業革命の経済インフラの根本的な技術になるだろう。

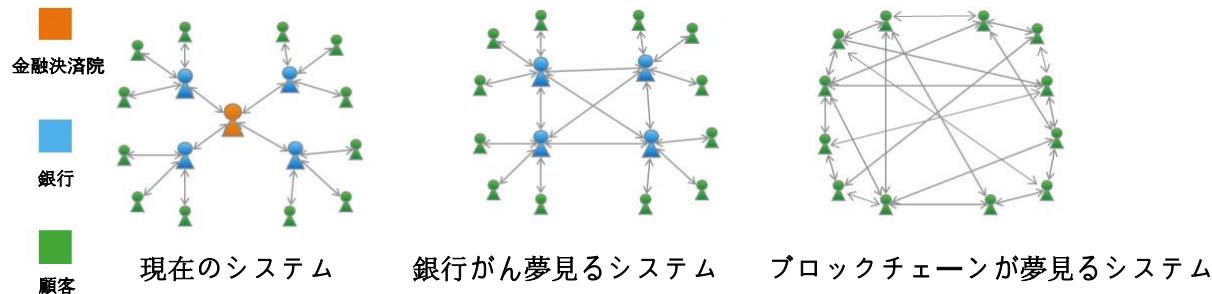
ブロックチェーンはP2Pネットワークを通じた分散技術

ブロックチェーンは一言で「データ履歴の意見の一一致を簡単に、効率的で、分散的に処理する技術」であり、既存のデータの一元システムをP2P (Peer-to-Peer) 基盤の方法で分散処理し、暗号化することで、取引仲介の必要性をなくし、取引の効率性と透明性を高めるだけでなく、低コストで安全な取引ができる技術である。

ビットコインを開発したNAKAMOTO SATOSHI (仮名) は、[ビットコイン : C2C電子マネーシステム]という論文で「P2Pネットワークを利用した二重払いの問題の解決策」を提案しており、ブロックチェーンの技術をビットコインという電子マネー取引に適用させて、信頼できる仲介者がいなくても価値を転送できることを証明した。SATOSHIが示したブロックチェーンは「世界中のコンピュータネットワークに保存されたデジタル記録」に言えるし、アクセスを制限して情報を保護する代わりに、ユーザー間のすべての情報が共有される。例えば、資金の所有権は、暗号で確認ができ、システムの完全な透明性と所有権を証明して、悪意のある行為者が出したノード (Node) のトランザクション (Transaction) は無効にさせることが出来る。

下の図のように、現在の世界と夢見る世界と未来産業をリードするブロックチェーンが望む世界が見える。

このうち大きな特徴は、ブロックチェーンが夢見る世界は仲介が全く存在しなくて分散技術で信頼性の高い取引を成立させることが出来るというのである。



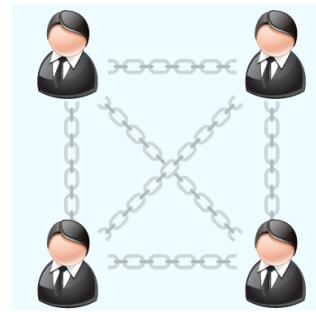
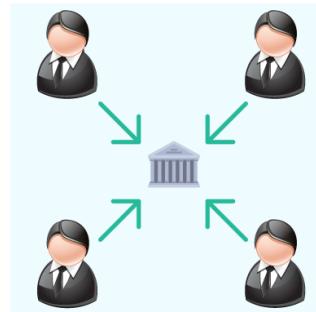
1. BLOCKCHAIN OVERVIEW

1.2. BLOCK CHAINの特徴

ブロックチェーンの分散型構造の主な機能

これらのブロックチェーンは、集中データシステムに比べて、他の主要な機能を提供する。

- ✓ 透明性：誰も他の口座に送金された送金の履歴を追跡できる。
- ✓ 不変性：取引が承認されると、元に戻せられないし、誰もその取引を妨害できない。
- ✓ 手ごろな価格の手数料：取引の手数料がほとんどない。
- ✓ 国境がない：すぐ隣の部屋にいるかのように、世界のどの国からも、簡単に資金を送れる。
- ✓ 高速な処理：ブロックチェーンの明確で真っすぐとした特性は送金によりほとんど同時に行われ、一般的に数日、数時間ではなく数分、数秒でも確認が可能である。



2. MIR COIN

2.1. はじめ-MIR COINの誕生の背景

2009年のビットコインという暗号通貨が出現した以来、多くの暗号通貨が出現した。

現在登録された暗号通貨だけでも、数千種が超えている。

その中には、ビットコインやイーサリアムのような認知度の高い暗号通貨もあるが、ほとんどの多くの暗号通貨は市場から音もなく消え去るのが現実である。

このような理由の中で一つは、現実不可能な派手な技術的な面だけ重要視して、肝心の実用的な面を考慮していないからである。

暗闇通貨としての機能を持ったり、有機エコシステムを造成し、事業を進め流通する暗号通貨はほとんど見当たらない。

その理由は何だろうか？暗号通貨の命は誰定めるだろうか？複数疑問が浮かぶ。

私たちは、その質問への答えを次のように結論下る。

MIR COINの誕生の背景には大きく3つの理由で区分できる。

1. 更新された新しい暗号通貨の必要性

MIRCOINは、技術的な側面でBitCoinを中心に置いて開発されただけに、BitCoinと似た特徴を持つ。

ただ、BirCoinの短所を克服するためにもっと良い暗号貨幣の目標を置いて開発しただけに、差別化を置いている。

BitCoinはSHA-256ベースの暗号アルゴリズムを使用するが、MirCoinはScryptというアルゴリズムを使用して採掘に対する効率性を極大化し、従来のBitCoinは毎10分ごとにブロックが生成されるのに比べてMirCoinは毎30秒ごとにブロックが生成になってBitCoinより20倍速い取引が行われ、1時間単位で採掘難易度が調整がなるよう設計になって最適の採算性を維持できるようにした。

これをもとにハッキングから完璧に補完し、大量トランザクションからさらに強力に対応することになる。

また、従来コインチケル比30%水準の発熱で長時間、採掘が可能に設計された。

これで3世代ブロックの暗号貨幣MIR COINこの誕生することになる。

2. 暗号通貨実物取引に適した公共マルチ電子財布の必要性

暗号通貨取引のために同期された財布だけではなく、ユーザーに合わせ設計された公共のマルチ電子財布が必要である。

既存の暗号通貨は、①遅い取引速度、②高価な手数料、③価値の変動などが激しく使用するのに難しいという意見がある。

MIR COINはこれらを克服するために、トークンの機能を追加した公共のマルチ電子財布を提供する。

2. MIR COIN

2.1. はじめ-MIR COINの誕生の背景

3. MIR COINを拡張させ、エコシステムを造成するプラットフォームの必要性

暗号通貨の価値上昇のための基盤とプラン、そしてそれを含んで運営されるプラットフォームが必要である。

そのプラットフォームの中で使用され、共有され、継続的な需要を引き起こす暗号通貨だけが、真の生命力を付与されることになる。

私たちは、この目的のために最も適したプラットフォームを研究しており、**MIR PLATFORM**を創りました。

MIR PLATFORMで、実体経済を担当して実物取引をしている**MIR LAND**がある。 **MIR LAND**では、さまざまな連携社を通じて実物取引を担当する。

MIR LANDの役割

1. MIR LANDでの各種実体経済の決済システムにMIR PAYを使用する。 (今後の取引履歴を提供して会計処理が可能)
2. MIR LANDでの中小企業や個人がMIR COINを中心にMIR PAYを使用し有機相互に作用
3. MIR LANDのメンバーは、連携された加盟店で様々な実体経済を共有するが可能
4. MIR LANDのパートナーで行われる請求により一定のポイントをMIR COINに獲得できる。
5. MIR LANDはMIR COINの価値上昇に先循環構造を持つ。

※MIR LANDはMIR COINを中心にMIR PAYを実体経済に使用して普及させるのに重要な役割を果たしており、既存の暗号通貨のように取引所で単純投機目的のみで使用しておらず、様々なエコシステムの組成との取引につながって、先循環構造を持つようになって、既存の暗号通貨との差別化を図る。

だけでなく、ユーザーに日常生活に合わせ決済システムを提供し、MIR LANDは、様々な加盟店と会員を繋げるハブを担当する。

MIR LANDに協力関係にある連携社は、MIR COINを中心にMIR PAYを使用し、既存のクーポンやポイントもMIR COINに交換が可能となる。

また、MIR LANDは、すでに多くのメーカーとの提携を結び、会員は提携した加盟店を多様にご利用が楽しめる。

また、時間が経つにつれ、提携する加盟店は指數関数的に増えるとなり、先循環構造が起きMIR COINの価値上昇にも寄与する。

連携業者EX: ソーシャルSNSサービスの共有、代行運転、ショッピングモール、旅行サービス、車両管理保守サービス、中古車取引サービス、フランチャイズ

2. MIR COIN

2.2. MIR COIN VISION

MIR COIN

MIR COINは、不特定の領域で発行されたブロックチェーンで合意された共通の価値を付与し、ネットワークを拡張及び安定化させる触媒である。さらに、MIR COINはPOINTを超える実物の通貨になるだろう。

MIR COINはハッキングされない完璧な補完と高速処理速度、低手数料の3世代ブロックチェーンの技術が結合された暗号通貨である。だけではなく、サイバーマネー、デジタルキャッシュ、クーポン、ゲームトーカンなど多様な形態のデジタル通貨を統合するものである。MIR COINは、ビジネスモデルの境界を越えて統合プラットフォームの継ぎ目であり、様々な市場と消費者の需要に満たされるだろう。

生活通貨MIR COIN

MIR COINは、既存のブロックチェーンの暗号通貨のリスクを補完して、実生活で通貨として利用されることを目標としている。

現在無数の暗号通貨が、いざ暗号通貨の機能は十分ではない。

転送速度の問題、相場変動幅の問題、高い手数料の問題など、さまざまな利便性が提供されていない。

これらの問題をMIR COINは、マルチ専用の財布を使用して、これらを解決する。

時間と場所とは関係なく、全世界のどこからでも使用が可能な一つのシステムを構築しようとしている。

現在、世の中に存在している、多くのPOINTは、管理するのも大変で利点を受けにくく使用することも難しい。

使用期間が終わって使えない場合が大多数であり、いざ使おうとしても、あまりにも多くの制約に大変だっただろう。

制約があるポイントのせいで使用出来るところがとても少なく、このポイントは、この場所でしか使用できないが、タダで貰えるから受け取った思う。

今からは、特定の場所でしか使用できないように設計された、各企業のビジネスによる制約の多くPOINTから抜け出し、時間と空間を超えて、いつでもどこでも使用が可能な獲得と決済が同時に行われるMIR COINに利益と支払いを受けられる。

- ✓ MIR COINは通貨としてMIR LANDというプラットフォーム事業を通じてPOINTの機能まで備えたハイクオリティー統合プラットフォームを目指す。
- ✓ MIR COINはON / OFF LINEでPOINTではなく、決済COINに実生活通貨を目指す。

2. MIR COIN

2.2. MIR COIN VISION

統合プラットフォームの為のMIR COIN

暗号通貨は現金同様のものではなく、現金として使おうとした通貨である。

MIR COINも、パートナーと提携を中心にいつでもどこでも使用が可能な生活通貨としての機能を持つ。

MIR COINはウォレットの中に立って眠っていることが多くのカードを単一の電子ウォレットに統合して簡単に使用できるようにする。

生活通貨MIR COINの利点

- 1.携帯電話ひとで、どこでも決済が可能にする。（世界を対象に）
- 2.デビットカードのように早い決済処理と獲得が出来る。
- 3.早い決済と転送が可能になる。
- 4.提携社のPOINT, COUPONなどを簡単MIR COINに替えられる。.
5. A社から貰った積立金をB社で使用が可能である。（ON / OFF LINE関係なし）
6. P2P個人取引と決済が可能で、すべての製品が直取引が可能である。
- 7.割引も同じように適用され、獲得+割引+お支払いを同時に楽しめます。

ON/OFF LINEの決済手段MIR COIN

MIR COINは、統合プラットフォームの中で、他社のオンライン決済が可能である。

パートナーと加盟店を中心に、自分たちの支払い方法の中でMIR COINを簡単に追加して、消費者が利用できるようにする。

獲得されるPOINTもMIR COINに切り替えられ、他の場所から獲得したMIR COINを現金のように買い物できるので、MIR COINのパートナーと加盟店は、より競争力のあるマーケティングの戦略が立てられる。

また、それ自体のメンバーと登録業者の会員を共に共有するため、より多くの会員を対象にサービスの提供ができる、これを通じた広報と高クオリティのサービスが可能になる。要するにそれは、登録した消費者に利益が戻される先循環構造になるのだ。



3. MIR LAND

3.1. MIR LAND INTRO

BLOCKCHAINと暗号通貨その生命力は「エコシステム」と「消費者」

革新的なブロックチェーン技術について最も活発に意味のある努力と発展が行われている分野は、通貨と金融市場である。

これは、すでにビットコインに代表される暗号通貨が支払い手段と価値の提供システムとして安全、便利で、透明であることが証明されたからである。

しかし、我々はそれだけで、暗号通貨が、当然その生命力を認められていると考えていないし、実生活の通貨として使用されるまではまだ十分ではないことが多い。

ブロックチェーンの暗号通貨が継続的な生命力を持つためには、それに適し市場 (Market) と消費者 (User) を胸に抱かなければならぬ。

まるでAppleのiPhoneがスマートフォン市場を見つけ、熱狂的なユーザーに可能性を爆発させたように、今ブロックチェーンと暗号通貨またそれ最も適し、

そして爆発的な可能性を秘め、市場や消費者に会わなければ、その生命力は維持できないだろう。

技術的な側面でもまだブロックチェーンと暗号通貨を越えなければならない限界がある。

私たちが望む市場とマーケットを見つけたとしても、必要な技術的なレベルに達していない場合、何の意味もないのだ。

もしそうなら、果たしてどのようなマーケットが暗号通貨の可能性を爆発させることができ、消費者から選択され支持を得られるか考えなければならない。

私たちは、これらの質問に答えを得るためにブロックチェーンのミルプラットフォームを誕生させた。

3. MIR LAND

3.2. MIR LAND INTRO – PLATFORM

「分散」は「境界」を崩し、「拡散」、「共に」、「絆」を目指す

先に私たちは、ブロックチェーンが分散ネットワークであることを確認した。「分散」は、「集中」の反対であり、「集中」は、他の集中と「境界」を持つ。

「分散」は「境界」を崩し、「拡散」という意味がある。

ほとんどの特定のビジネスモデルは、特定の「境界」内で行われる「中央」型システムに依存しており、消費者と製造者の伝統的な枠の中で行われた。

同じ性質のビジネスでさえも、特定のプロバイダの領域内でのみ存在しており、「競争」は、境界をさらにツリヨトヒするだけだった。消費者は、「境界」の中で受動的であり、不完全だった。

私たちは、ブロックチェーンが「分散」と「拡散」、「共に」と「絆」という理念の哲学を持っており、様々な同種及び異種間のビジネスモデルの境界を崩し、連携と統合の価値ネットワークを共有することこそ、真のブロックチェーンネットワークの理想に満たしていると考えている。

MIR LANDは、「連携と統合の価値ネットワーク」

私たちは、現実の生活の中で「境界を崩し、連携と統合の価値」を共有できるプラットフォームを探しており、その中に位置している様々なビジネスモデルを一つに繋げれるリングとしてMIR LANDに注目する。

実生活POINT MARKET適用に最適な暗号通貨

お客様の商品購入やサービス利用の実績に応じてボーナスポイントを与える報酬プログラムであるポイント（マイレージ）制度は、顧客の忠誠心を維持するための代表的なマーケティング手段である。インターネット技術の発達で電子商取引の方法が増え、積み上げたポイントを現金のように使用しているサービスが普遍化されており、その規模は次第に大きくなっている。

また、オン、オフラインで商品を購入することに加えて税金、光熱費など各種料金の支払いをするためにまで使用範囲が広くなり、、ポイントは現金、クレジットカード（電子決済方式）に続く「第3の（民間）通貨」となった。

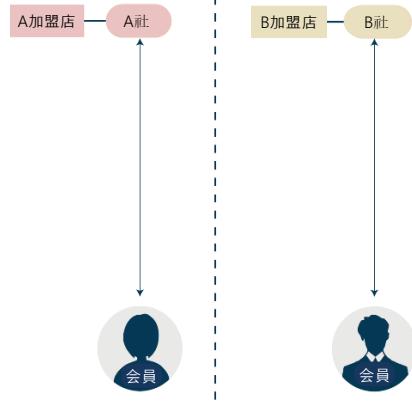
しかし、根本的にポイントは、その加盟店でのみ使用が可能である限界を持っており、使用しないで、一定期間が経過すると消滅して価値が保存されない欠点を持っている。これらの点の限界は、逆説的にもブロックチェーンの技術を基盤にした暗号通貨を介して新しい概念の実生活通貨で生まれ変われる。

3. MIR LAND

3.2. MIR LAND INTRO – PLATFORM

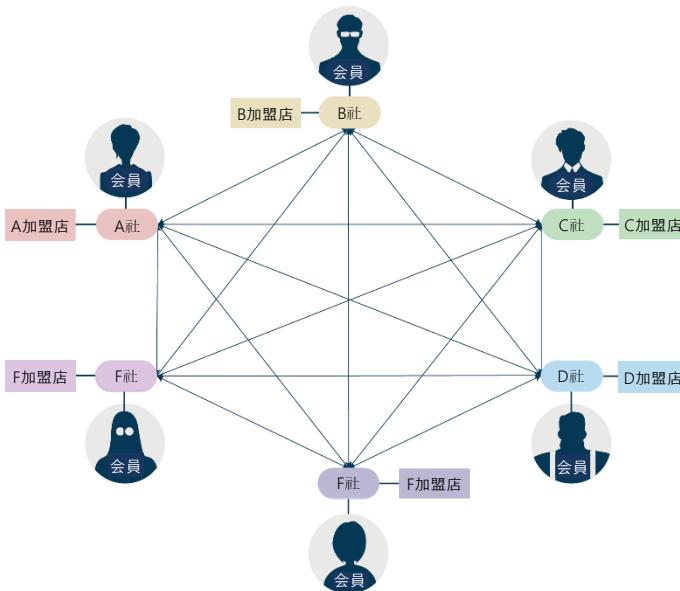
プラットフォームの新しいパラダイム

既存ビジネスモデルの限界



- ✓ 自社の顧客にポイントを与える。
- ✓ その加盟店でのみ使用。
- ✓ 有効期間内でのみ使用。
- ✓ 低ポイント加算率。
- ✓ 支払いポリシーによる価値不变。
- ✓ 地域的、国家的使用の範囲の限界。
- ✓ 事業の失敗による消滅。

ブロックチェーン基盤の新しいプラットフォーム



- ✓ 保有ポイントからコインに切り替え可能。
- ✓ 他社の加盟店でも使用。
- ✓ コインの切り替え時の有効期間なしに使用が可能。
- ✓ 統合ポイントを使用する場合、再加算率が高い。
- ✓ 変換されたコインは、いつでも現金化が可能。
- ✓ コイン相場上昇時の資産価値も上昇
- ✓ コイン相場下落時に統合のポイントに移行 (資産価値下落時に対応)
- ✓ 地域、国を超えての使用が可能、送金、振替え可能。
- ✓ 事業の失敗に関係なく、永久的に使用。

3. MIR LAND

3.3. MIR LAND CONCEPT

MIR LANDは「ブロックチェーンの技術を様々なビジネスモデルの連携と統合に適用した一つの価値ネットワーク」と定義する。

MIR LANDはPOINT¹ (キャッシュ、サイバーマネー、積立金、割引クーポン、ゲームトークン...など) のように、既存の特定のビジネスのために使用された電子マネーを媒介にして、様々なビジネスモデルを連携及び統合し、価値を共有及び拡散する分散型ネットワークシステムである。

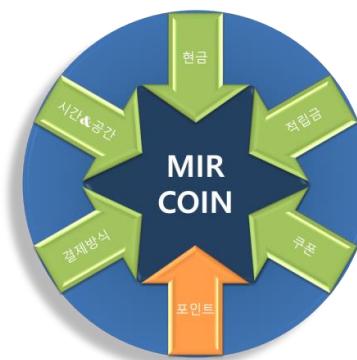
MIR COIN (連動交換) \leftrightarrow 各種POINT = MIR LAND電子ウォレットに連動

私たちは、MIR LANDを介して各ビジネスで提供されているPOINT発行の信頼性と安全性を確保し、取引を拡大させ、ビジネスモデル間の連携を図り、第3の仲裁がなくてもビジネスモデルを実行する企業や企業、会員と会員間の自由な交換と取引を保証する。

また、MIR LANDは、現在、各企業が運営しているPOINT発行およびオペレーティングシステムの労力とコストを大幅に減らし、ソフトウェアの変更を必要としない。MIR LANDは、企業が運営する「企業 - 商人 - 会員」との間のサーバー - クライアントシステムを維持しながらも、ブロックチェーンネットワークのメンバーになれる技術的な解決策を提供する。

これは企業に固有の領域を保護しながらも、境界を拡張させ、拡張された領域での安全、信頼性の高い取引関係とデータ管理のシステムを提供する。

消費者（会員）は、従来のPOINTシステムが持っている限界を超えて、いつでもどこでも、自由に使用可能な価値交換手段を提供し、これは便利で安全であり、さまざまな支払いオプションを提供することになるだろう。



3. MIR LAND

3.4. MIR LAND INSIDE

MIR LANDが適用される環境は大きく「会員 - (加盟店) - 企業」(U-S-E)を結ぶ領域と「企業 - 企業」(E-E)、「会員 - 会員」(U-U)の間を網羅領域に区分できる。

最初の領域は、運営するビジネスモデル（サービス）ごとに特殊性が存在し、垂直的なシステムで運営される。第二の領域は、水平的システムに存在する。

ミルランドは二つの領域の特殊性と現存している運用システムを認めると同時に、それと効率的で安全な連携を確保する。

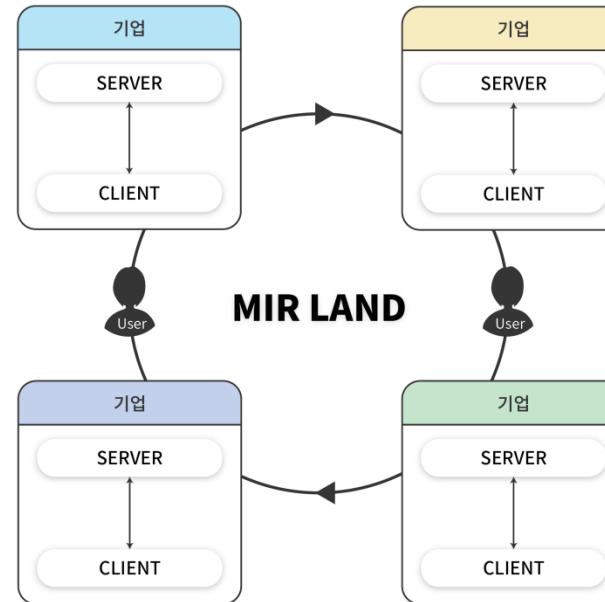
ミルランドはミルコインを活用して二つの領域の両方を一つ結びつけるし、ミルランドは、企業をマッチングできる革新的なプラットフォームシステムである。

また、最初の領域の特殊性と現存している運用システムを認めると同時に、それと効率的で安全な連携を確保する。

ミルランドネットワークと現在の企業が運営するシステムとの間の「要求 - 応答」において、ブロックチェーンネットワークと同質的な暗号化方式が適用される。

また、企業に必要な強力なAPIと軽いWeb基盤のクライアントソリューションを提供するものである。

また、既存のブロックチェーンの問題点として指摘されてきた大量のトランザクション処理の問題と遅延の問題の解決策を提示するだろう。



4. MIR PLATFORM

4.1. MIR PLATFORM – 概要

MIR PLATFORMはMIR COINとMIR LANDを基盤にした複数のシステムの統合であり、MIR COINの生態系をなす。

MIR PLATFORMはMIR CHAINネットワーク上の装着された様々なクライアントインターフェイスを備えているアプリケーションのソリューションとシステムの結合体であり、MIR COINのアーカイブであり、電子財布のMIR WALLETと決済システムのMIR PAY、提携企業とサービスの集合体であるMIR LANDこれらの独立した構造と機能を持っており、同時に有機結合体でもある。

MIR PLATFORMでユーザー（会員）は、取引所を介してMIR COINをいつでもどこでも自由に購入可能である。

もし、MIR LANDと提携した企業の会員であり、ポイントを持っている場合は、取引所に登録する必要もなく、ミル電子財布で持つていれば、POINTをMIR COINに換える。

MIR COINは取引所でいつでも現金化が可能であり、統合決済の獲得ポイントのMIR PAYにも変換が可能である。

MIR PAYに変換されたMIR COINはMIR LANDと連携した様々な企業のサービスを利用したり、商品を購入した後、決済できる。

決済された金額に応じてMIR PAYも獲得が可能である。また、決済を行った後、加算されるMIR PAYをMIR COINにも切り替えが可能である。

ユーザーは保有MIR COINを支払いが必要に応じて自由にMIR PAYに切り替えて使用ができ、MIR PAYを再MIR COINに切り替えて保持が可能だ。

ここでMIR COINは取引に伴う取引所の相場に沿って変動するが、MIR PAYは、固定された相場を適用して使用する。

MIR COINは取引所のAPIを介して交換された相場が適用されMIR PAYに交換し、交換されたMIR PAYは、固定値を保つ。

ユーザーは、保有しているCOINに資産の価値と保管を自由にでき、必要に応じて使用するたびに切り替えて簡単に決済することを目的とする。

これらの決済プロセスは、最適なUI設計により簡単決済システムであるMIR PAYにモジュール化され、

MIR PAYを搭載したミル電子財布は、革新的な暗号通貨基盤の交換専用決済ソリューションとして実装されるだろう。

MIR PLATFORMでは、ユーザーは、既存のポイントが持っている限界（時間、場所、価値不变の限界）を克服して、いつでもどこでも、

様々な形でお支払い可能な実生活通貨で、MIR COINの価値変動に応じて、積極的な対応が可能になり、ミルチェーンネットワークの拡張に寄与することになるだろう。

4. MIR PLATFORM

4.2. MIR WALLET

MIR WALLETはMIR COINを保管し、振替できる電子財布である。また、登録されPOINTを簡単で便利に、MIR COINに切り替えることができる。

また、これは、MIR CHAINとMIR COINだけ持つ特別な機能であり、新しいユーザー体験を（User Experience）を与えるだろう。

私たちは、電子財布の機能をさらに拡張させるために研究しており、これは、最終的にブロックチェーンネットワークを構成する各階層に企業が運営する既存のシステムをどのように効果的に結合するかの問題である。

私たちは、これらの問題の解決にMIR CHAINに適用される暗号化方式を企業のネットワークとの連携に適用して、外部の攻撃やネットワーク上の情報の打っ手續や偽変造の問題を解決する。

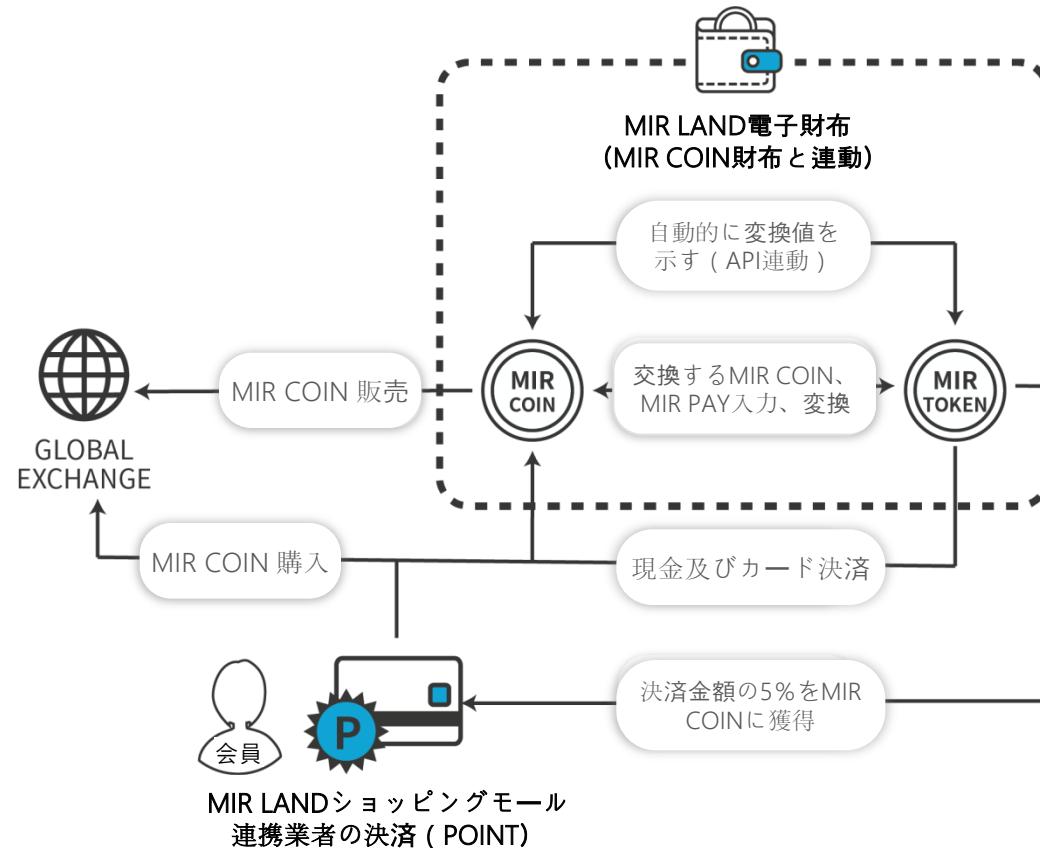
さらに、企業の様々なニーズに対応する強力なAPIを提供する。

MIR WALLETは、次のような特徴と機能を持つ。

- 既存COINの電子財布アドレスを統合的に運営（マルチ財布）
様々なCOINの電子財布アドレスを登録して使用が可能にすることができる
- MIR COINと各種POINTを同時に操作（交換可能）
- MIR COINは取引所の相場により変動されるが、POINTは、固定された相場で動き、これ財布とサーバーで連携して運営される。

4. MIR PLATFORM

4.2. MIR WALLET-決済フローチャート



4. MIR PLATFORM

4.3. MIR LAND – MIR PLATFORM

MIR LANDはMIR PLATFORMを使用する多様なビジネスモデルを連携及び統合したウェブ/アプリケーションとして、ユーザーのニーズに合わせた、統一されたUI、UXを提供し、ネットワークの価値を共に及び拡張させる統合ソリューションの機能を果たす。

MIR PLATFORMは、MIR COINを中心に、特定の所有者または排他的者なしで誰でも簡単に、さまざまなコンテンツとビジネスプランを共有できるように設計された統合ソリューションとして、様々な使用のコンテンツと連携ビジネスプランは、MIR LANDに搭載されてユーザーに提供され、これを利用するユーザーは、MIR COINをMIR PAYとCOUPONに切り替えて使用し、MIR LANDのMIR PAYとCOUPONは、再びMIR COINに転換され、グローバル取引所で購入し、販売行うことができるシステムである。

グローバル取引所でのMIR COIN相場は流動相場で、ユーザーは使用しても相場の上昇に応じて使用量の回復が行われることができ、MIR LANDでのMIR PAYとCOUPONに切り替える際には、固定相場を適用受けプロバイダ（連携メーカー）のサービス価格の安定性を担保することができる生態系が形成される。

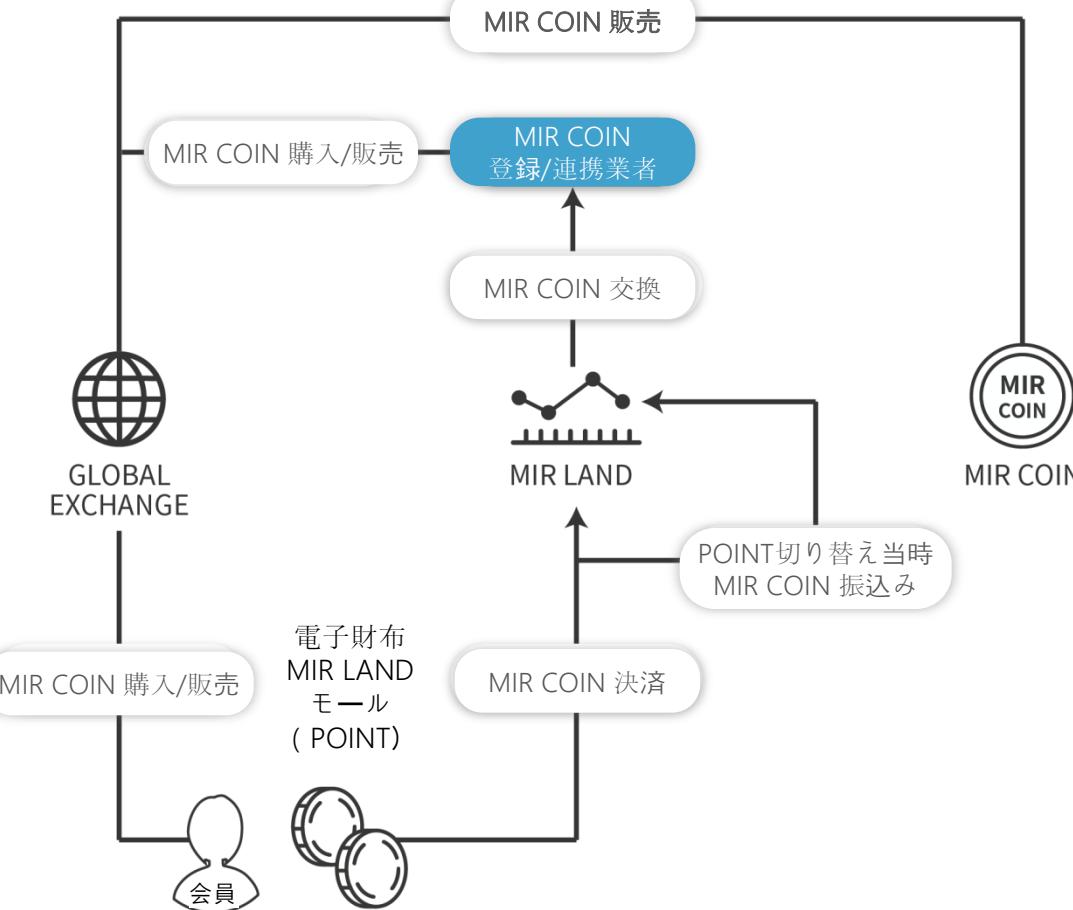
大型化された企業の広報と背景に偏重された市場を、中小企業と零細企業もMIR LANDの連携されたメンバーで市場の認知度、収益、そして、ビジョンの透明性を解決できる。

MIR LANDの統合ソリューションは、このような企業がプラットフォームの中に入店させて、既存のメンバーと入店された企業の会員が合体することで発生する売上高と広報の相乗効果を最大化する。

また、会員の場合、現実には使用されている通貨とカードの使用に伴う不便さと資産の減少をMIR LANDの会員になることによって、すべての問題が解決される。

4. MIR PLATFORM

4.3. MIR LAND-決済フローチャート



4. MIR PLATFORM

4.4 MIR WALLET / Global EXCHANGE

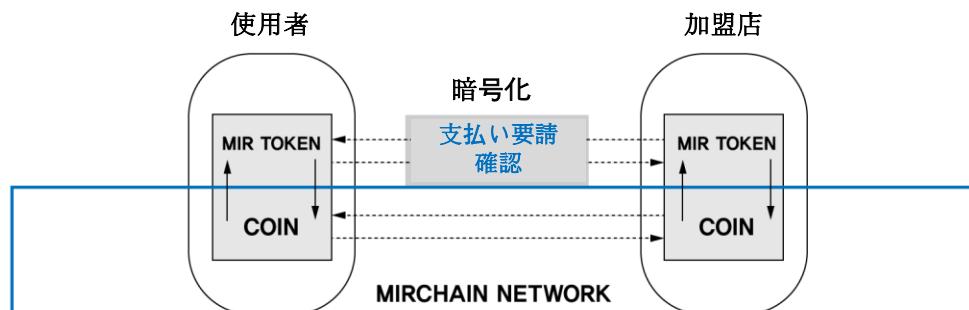
MIR WALLET

MIR COINを基盤にしたシンプルな決済システムである。ユーザーが保有しているMIR COINをMIR PAYに切り替える、変換されたMIR PAY連携されたオン・オフラインどこでも使用が可能である。また、交換せずにすぐにMIR COINで決済が可能でパートナーでもじやなくてもMIR WALLETだけ持っていれば、いつでも使用できる。

MIR PAYは、ユーザーの利便性と安全性を最大化するための強力なユーザーインターフェイスを実装して提供する。MIR PAYはユーザー間の支払い要求と確認するだけで決済が行われます。MIR WALLETは、既存の簡便決済システムが持っている最初の口座開設手続きが必要ない。

MIR WALLETは、従来の簡便な決済システムが持っている最初の口座登録の手続きが必要ではない。

連携企業や加盟店も、別のPOS端末のインストールが不要で、PG社のような中間手数料の費用も発生しない。



Global EXCHANGE

MIR COINを購入したり、販売することができるグローバルコイン取引所である。MIR COINは、連携されたグローバル取引所を介してMIR COINをいつでも現金化することができ、他のコインに換えられる。

グローバル取引所は、MIR CHAINとMIR COINが持っている価値を分配して交換する役割をしており、MARKETの成長とグローバル化の通路となる。

提携企業の立場から見ると、国内の加盟店および海外加盟店（または支店）との間の決済方式の壁を克服するし、企業会員の立場から見ると、世界のどこでも決済と現地通貨（Fiat Currency）への切り替えが簡単かつ便利になる。

また、MIR COINは、世界中の誰もが時間と空間の制約なく使用されるグローバル通貨で成長するのであろう。

5. MIR CHAIN - MIR COINの技術的なアプローチ

5.1. MIR CHAIN INSIDE

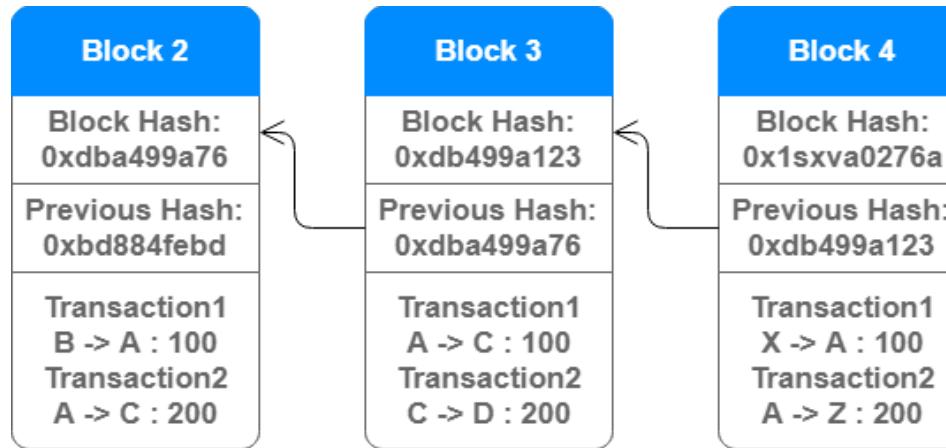
MIR CHAINネットワーク

ブロックチェーンネットワークは、大きくブロックチェーンのノードとブロックチェーンクライアントとして構成されている。

ノードは、トランザクションを保管し、承認し、分散合意の役割を担当し、クライアントはトランザクションを作成し、取引の履歴を確認する役割を果たす。

ノードは、二種類のデータ基盤を持っているが、一つは正しいトランザクションをすべて保持するブロックチェーントランザクション保管データ基盤であり、他の一つは、保存されたトランザクションをアプリケーションに適用するアプリケーションのデータ基盤である。ノードが持っている、上記の最初のDBがすぐにブロックチェーンという特異な構造に設計されている。

トランザクションを記録したブロックは、P2Pネットワークを介して反映され、複数のブロックの中から、事前に合意された方式による適切なブロックを前のブロックに続く。



5. MIR CHAIN - MIR COINの技術的なアプローチ

5.1. MIR CHAIN INSIDE

作業証明 (Proof Of Work)

MIR CHAINは、基本的に作業証明方式の合意アルゴリズムを採用する。

作業証明はScryptハッシュ関数を利用した暗号化ハッシュ値を見つけるプロセスである。

MIR CHAINの作業証明方法は、基本的に知られているビットコインのそれと類似している。

しかし、従来の作業証明方法は、大量のトランザクションによる制限とブロック生成タイム10分という遅い速度の限界を持っている。

MIR CHAINはこのような問題点を克服しようとScryptハッシュ関数を利用した作業証明方式(Proof of Work)を採択した。

ブロック間の発生時間は30秒であり、1日のブロック数は2,880ブロックが生成され、ブロック補償は10 MIRであり、1日最大採掘補償数量は28,800MIRに区分される。

今後40年間の公開採掘量の図]

区分	1日	5日	1年	10年	20年	30年	40年
1ブロック当たりの採掘補償量	10	10	10	10	10	10	10
生成と消滅コイン	2,880	14,400	1,051,200	10,512,000	21,024,000	31,536,000	40,000,000
採掘量	28,800	144,000	10,512,000	105,120,000	210,240,000	315,360,000	400,000,000



[難易度周期:1時間ごとに難易度の再調整]

5. MIR CHAIN - MIR COINの技術的なアプローチ

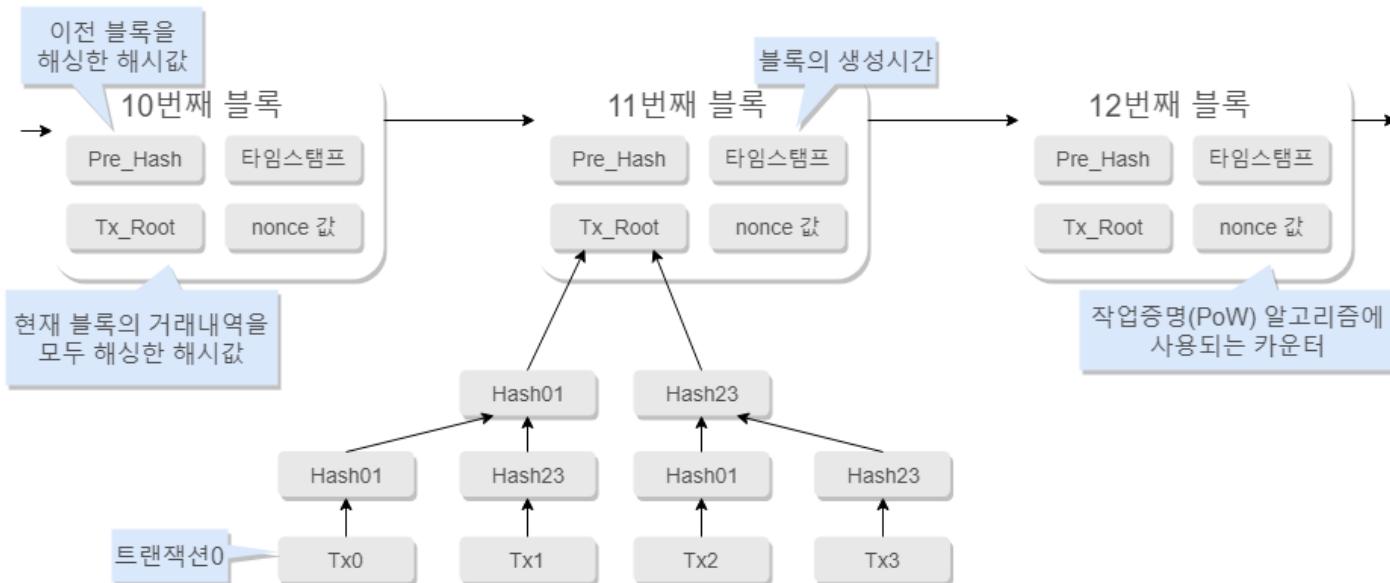
5.1. MIR CHAIN INSIDE

ブロックの作成と報酬システム

ミールチェーン内でブロックの生成時間は30秒以内だ。1日のブロック数は2,880ブロックが生成され、ブロックのシステムは10 MIRであり、1日最大採掘補償数量は28,800 MIRにブロックによる補償を適用することになる。

私たちが30秒単位のブロックの生成とブロック生成による補償数量を定めておいた理由は速い処理速度を志向して採掘時間が経過することによってブロックのシステムが著しく減るのを防止し、作業の証明による補償の価値を高めて、ネットワークの安全性を維持するためのものだミルチェーンは、高速ブロック生成サイクルを持つ。

- ・ミールチェーンは早いブロック生成周期を持つ。
- ・ミールチェーンは1時間単位で採掘、難易度を調整して、合理的な補償システムを持つ。

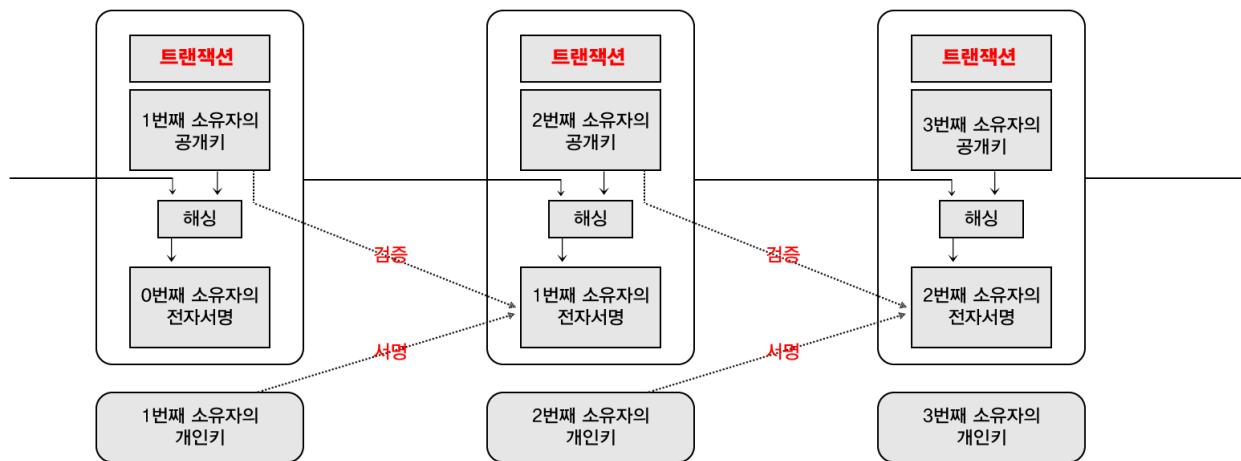


5. MIR CHAIN - MIR COINの技術的なアプローチ

5.1. MIR CHAIN INSIDE

トランザクションの処理および承認 (Transaction Process)

ネットワークでは、トランザクションが発生した場合、ミルチェーンは、次のステップで、トランザクションを処理する。



- 1) 利用者が秘密鍵を使用して振替取引Aを適用する。
- 2) 振替取引Aに対応するハッシュ値と識別コードが発行される。
(TxID) - これにより、変形の内訳は、すぐに確認することができ、識別コードを介していくつか所属の採掘者が採掘に参加できるかどうかが決まる。
- 3) 振替取引Aの詳細を採掘者が自分の振替プールに入れて保管する。
- 4) 採掘が目標値ハッシュに成功してブロックの作成権限を得ると、新しいブロックに振替申し込み内訳を「優先順位」から順番に入れて発行する。
- 5) 振替取引A内訳を盛り込んだブロックがネットワークに伝達される。
- 6) 振替取引Aが1回確認 (confirmation) される。

5. MIR CHAIN - MIR COINの技術的なアプローチ

5.1. MIR CHAIN INSIDE

- 7) ネットワークを介してそのブロックを展開（ダウン）を受けた次の採掘者がブロックを作成する権限を得て次のブロックを生成することになる。
- 8) 振替取引Aを入れたブロックの「次のブロック」がネットワークに伝播される。
- 9) 振替取引Aが2回確認される。
- 10) 変形される主体が変形履歴を承認すると、変形確定（Settlement）になる」

SATOSHIが設計したビットコインプログラムは、各6回の交換の確認を受けて再交換（使用）が可能なように設計されているが、これは遠くのノードからほぼ同時に、ブロックが作成されることを想定したものである。

まず、生成されたブロックが到達する前に、新しいブロックが生成される場合、チェーンは分岐が発生するが、この場合には、より長い方の鎖が採用され、これ以上のブロックをイオガジないチェーンは消滅することになるだろう。

ビットコインが6コンフォームの後に再利用が可能に設計された理由は、トランザクションを含んでいるブロックが生成（1コンフォーム）された後、少なくとも5ブロックが付くようになるとそのチェーンは生き残るされ、そのトランザクションは、もはや問題が発生しないことを意味している。この時、消滅したブロックに含まれてたのトランザクションは、元の状態に戻り、ブロックに追加基待たされる。

ビットコインのブロック生成時間が平均10分で、こんなに演算量が大きい作業の場合、ほぼ同時に、ブロックが生成される場合が多くない。

また、長さが同じチェーンの衝突も間もなくブロックチェーンの長さが変わって四半期による衝突が解消される。

実際、過去1年間に発生した四半期は2～3ブロック以内に解決されている。

また、多くの事業者は、ビジネスの領域でユーザーの満足のためにコンフォームの手順を調整して、1～2コンフォームだけで変形の確認が可能のように処理している。

5. MIR CHAIN - MIR COINの技術的なアプローチ

5.2. MIR COIN POLICY

MIR COIN

COIN NAME : MIR COIN

COIN 葉名 : MIR

COIN 単位 : 小数点以下8席

MI1(小数点1席)、MI2、MI3~MI8(小数点8席)のたった偽名で区分

MIR COIN アルゴリズム : Scrypt

MIR COIN 使用先 : MIR LAND、生活貨幣、P2P、各種取引

MIR COIN 総埋蔵量 : 43億MIR

MIR COIN 公開採掘 : 4億MIR

MIR COIN 企業流通用のコイン : 30億MIR

MIR COIN 会社の保有株の使用 - 会社運営資金2億、開発チーム7千万、CEO 4000万、
運営スタッフ4万]

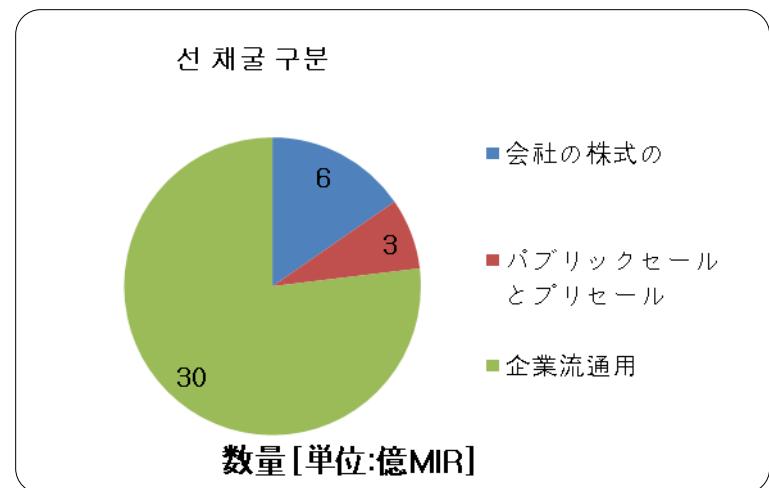
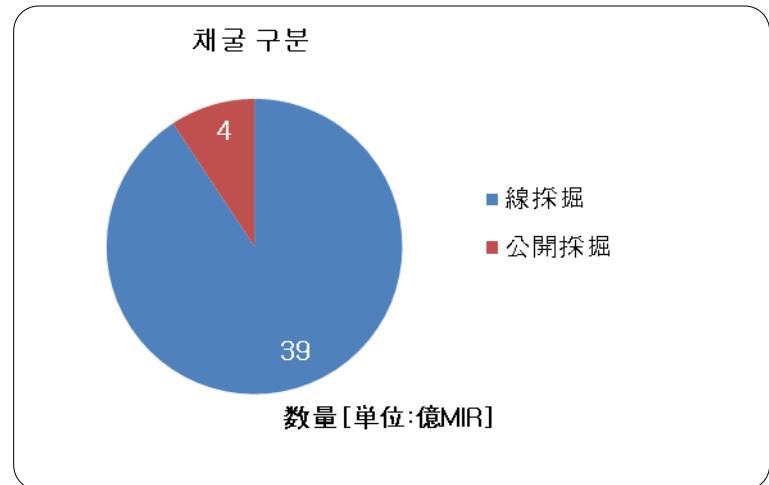
会社の株式の (年間LOCK UP / 2019.06まで) : 3.5億MIR

MIR COIN 参加者の報酬用途 - アフィリエイト1.5億、広報、マーケティング7千万、

会社のコンサルタントおよび関係者3万]

参加者補償用 : 2.5億MIR

MIR COIN パブリックセールとプリセール : 3億MIR



5. MIR CHAIN - MIR COINの技術的なアプローチ

5.2. MIR COIN POLICY

MIR COIN Scryptアルゴリズムを基にしている。

総発行数は43億MIRであり、生活の貨幣で積立と決済を同時に広めるために39億MIRは立った採掘する。

MIR COINは多くの乗って取引所に登録をしてMIR COINの価値上昇を備えて4億MIRは公開採掘できるように設計された。

採掘補償は4億個であり、ソンチエグルされた39億個は企業の物量30億個(年間2億未満:69.77%)、参加者の持分(会社&関係史&マーケティング&機関等)6億個(13.95%)、

流通量3億個(6.98%)で構成される。

ソンチエグルされた39億個はLOCKを歩いて一定期間、流通されないように統制することにより、MICOINの市場価値に対応することになる。

ブロック間の発生時間は30秒であり、1日のブロック数は2,880ブロックが生成され、ブロック補償は10 MIRであり、

1日最大採掘補償数量は28,800MIRに区別され、毎1時間ごとに難易度調整が行われる。

MIR COINは生活貨幣としての価値の創出に向けてスピードを活かした多様な統合プラットフォームで運営されるようにするとしている。

MIR COINは分散化された世の中を実現するため、共同体を新たに位置づけて、定義された共同体を連結し、

連結された共同体を通じて新しい世界を作るだろう。

MIR COINは社会的・政治的意味でのみ存在していた共同体(Community)に経済的関係を結び付けることで

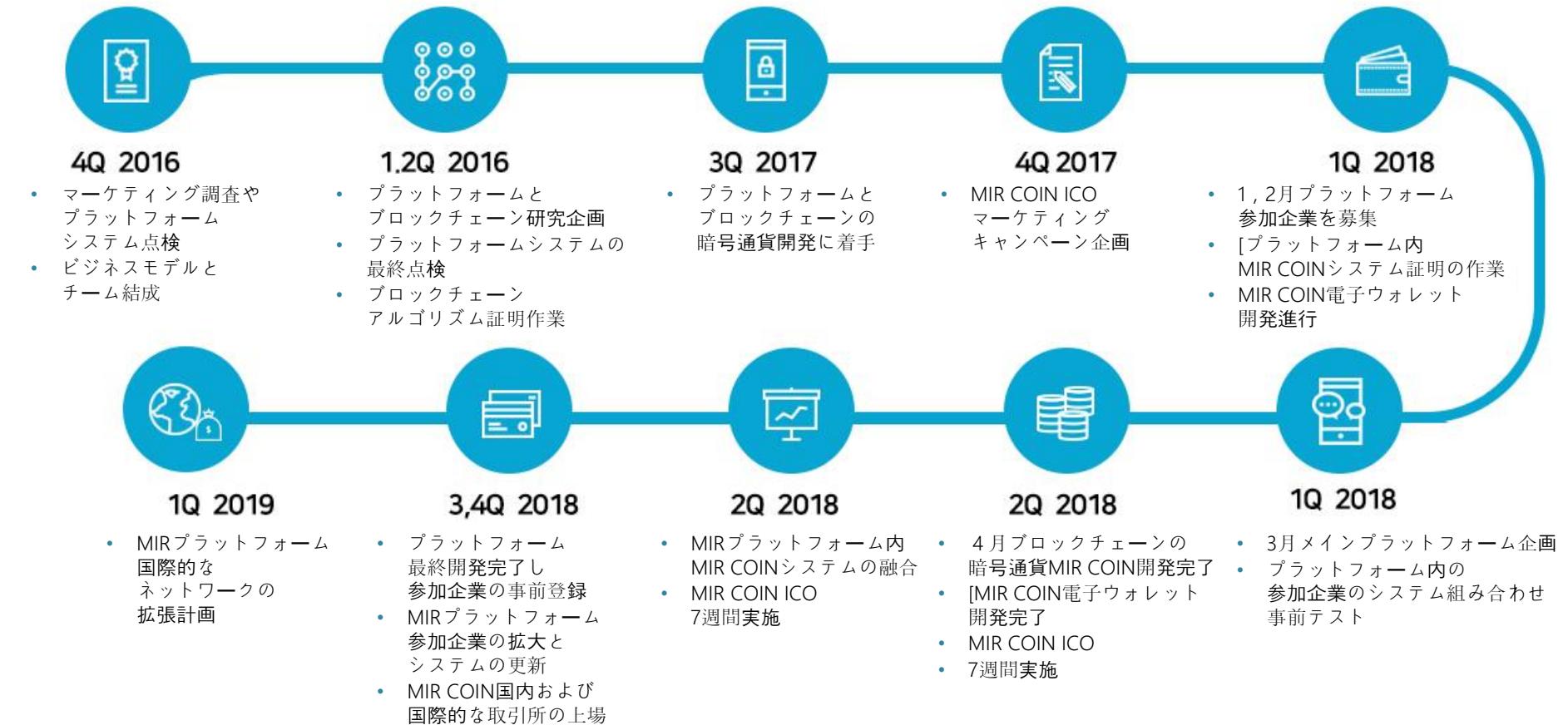
国家単位で定義されていた従来の経済システムを共同体単位で新たに定義して、定義された各共同体を以前より。

ますます密接に連結させるだろう。

また、現実世界(Real world)だけでなく、仮想通貨世界(Crypto-world)ともつながって無限な拡張(Infinite scalability)が可能になるだろう。

6. MIR COIN ROAD MAP

6.1. ROAD MAP



7. MIR COINビジョンと今後の計画

7.1. MIR COINビジョンと今後の計画

MIR COINのビジョン

MIR COINは全世界に拡大できる最も現実的なプラットフォームを持ち、グローバル展開を目指す。

世界を一つに合わせ為替それぞれの国の通貨に關係なく、MIR COIN一つで全ての決済が可能になるでしょう。

これを作るためにMIR LANDが発足し、これに発生する売上と収益がユーザーに補償され、より生み出したシステムとサービスで使用される。

MIR COINは、時間と空間に關係なく、使用が容易に行われ、これを世界の人々が熱狂するCOINとMIR LANDなっていくだろう。

既存のCOINのように何の目的がなければ、使い道なく会員のマーケティングのみ形成されている財のCOINではなく、プラットフォーム通貨としての機能が強調されて、その中に財の機能が含まれて運営されているCOINであり、単純な目的や用途を作るよりは、請求の利便性とCOINの認知度拡散、広報、決済、取引すべて行われる統合プラットフォームのCOINある。

現在の価値より未来の価値を優先し、そのために統合プラットフォームを拡張していくと共存するCOINがされ、プラットフォームに入店された店、企業も一緒に発展して導く将来価値のCOINとして飛び立つ。

言語と文化、地域に限定されず、万国共通の通貨として飛翔するCOINはMIR COINが先頭に立つだろう。

MIR COIN今後の計画

MIR LANDグローバル化とMIR COIN取引所登録

MIR LANDの登録企業100ヶ所以上 - 2020年まで

MIR LANDの登録企業1000ヶ所以上の - 2025年まで

MIR COIN世界共通通貨としての跳躍 - 2030年まで